

## パプアニューギニア「ナザブ・トモダチ国際空港整備事業」に当社屋根材が採用されました

パプアニューギニア独立国のレイ市で整備が進められていた「ナザブ・トモダチ国際空港整備事業」において、新設された旅客ターミナルビルに三晃金属工業株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：佐藤宏明）の金属屋根（品名：丸馳折版Ⅲ型ダブルパック工法）が採用されました。

この空港整備事業は日本政府 ODA の一環で、第二の経済都市レイ近郊のナザブ・トモダチ国際空港の旅客ターミナルの新設及び滑走路の改良、誘導路の新設・強化、管理棟・消防棟の新設、管制塔の改修など、全面的な整備を支援したものです。

これにより、航空輸送の安全性・利便性向上を図り、同国北部地域の経済成長の促進に寄与します。

2023年10月2日に開港式を迎えた同空港の旅客ターミナルビルの施工について、当社も海外事業の一環として、株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル、株式会社梓設計共同企業体の設計・監理、大日本土木株式会社・株式会社 NIPPO 共同企業体が施工主体となり、曲面屋根(R=40m)に対応可能な丸馳折版Ⅲ型を断熱性能に優れたダブルパック工法でご採用いただき、屋根材のご提供に併せて設計協力や施工指導などで参画致しました。



### 【製品概要】

屋根材：丸馳折版Ⅲ型ダブルパック工法 働き幅 550 mm  
屋根材質：上弦材／フッ素樹脂ガルバリウム鋼板 t=0.8 mm  
下弦材／カラーガルバリウム鋼板 t=0.8 mm

### 【案件概要】

建設地：パプアニューギニア独立国 レイ市  
屋根面積：7,735 m<sup>2</sup>

三晃金属工業は金属屋根トップメーカーとして「未来のために、今から屋根ができること。」をキーワードに持続可能な社会実現に向けた商品をお客様にご提供し、これからも社会に貢献して参ります。

以上